

11 月 9 日：利益確定売りに押され、VN 指数は反落

投資家の利益確定売りによって一連の大型銘柄が軟調であったため、本日の VN 指数はさえない値動きとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.41% 安の 1,461.50 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.76% 高の 1,467.57 ポイントで取引を終えていた。

騰落別では 200 銘柄が上昇し、253 銘柄が下落した。

売買高は 10 億株で、売買代金は 30 兆ドン（13 億米ドル）を超えた。

VN30 指数は 0.56% 安の 1,527.13 ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、9 銘柄が上昇、20 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。

値下がり銘柄にはサイゴンハノイ銀行（SHB）-3.2%、キドグループ（KDC）-2%、フーニョアンジュエリー（PNJ）-1.9%、マサングループ（MSN）-1.8%、ペトロベトナムガス（GAS）-1.9%、ビナミルク（VNM）-1.1%が含まれた。

「VN 指数は本日 小幅に下落した。前日の最高値更新を受け、売りが出たためだ。最終的に同指数は 6 ポイント下げて取引を終えた」（BIDV 証券）

「引き続き値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った。外国人投資家は本日、ホーチミン市場で買い越し、ハノイ市場で売り越した」（同証券会社）

「出来高は依然として高水準で、VN 指数は今後 1,460 ポイント台で推移していく可能性がある」

外国人投資家はホーチミン市場でホアファットグループ（HPG）1729 億 3,000 万ドン、ヴィエティンバンク（CTG）949 億 9,000 万ドン、ビンホームズ（VHM）859 億 3,000 万ドンを含む 75 億 7,000 万ドンを買った。

一方でハノイ市場では 17 億 1,000 万ドンを売り越した。

値下がり業種では卸売、小売、情報技術、銀行、食品飲料、ゴム製品、建設、建設資材、水産加工業が売られた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.12% 高の 432.64 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日に 1.04% 高の 432.10 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 4,300 万株以上で、売買代金は約 3 兆 8,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。